

平成29年6月定例会

議案説明資料
予算に関する説明書
(平成29年度補正予算等関係)

企業局

平成29年6月定例会議案説明資料目次

企 業 局

【予算関係】

議案番号	件 名	課名等	頁
議案第3号	平成29年度鳥取県営電気事業会計補正予算(第1号)	経営企画課	1
	1 補正予算説明資料		2
	2 予定キャッシュ・フロー計算書		4
	3 予定貸借対照表		5
	4 債務負担行為に関する調書		6

【予算関係以外】

(議案)

議案番号	件 名	課名等	頁
議案第14号	鳥取県営企業の設置等に関する条例の一部改正について	経営企画課	7

(報告)

報告番号	件 名	課名等	頁
報告第5号	平成28年度鳥取県営電気事業会計継続費繰越計算書について	経営企画課	9
報告第6号	平成28年度鳥取県営電気事業会計予算繰越計算書について	〃	10
報告第7号	平成28年度鳥取県営工業用水道事業会計予算繰越計算書について	〃	12
報告第10号	長期継続契約の締結状況について	〃	13

補正予算説明資料総括表

企業局(単位:千円)

会計名	区分	収 入			支 出		
		補正前の額	補 正 額	計	補正前の額	補 正 額	計
電 気 事 業 会 計	収益的収支	2,562,604	0	2,562,604	2,399,087	10,000	2,409,087
	資本的収支	1,811,830	0	1,811,830	2,797,938		2,797,938
	計	4,374,434	0	4,374,434	5,197,025	10,000	5,207,025

説 明

電 気 事 業 会 計 小鹿第二発電所導水路(東伯郡三朝町井土)の補修工事に伴う補正

平成29年度企業会計補正予算説明資料

款 電気事業費
 項 営業費用
 目 水力発電費

工務課(内線7448)
 (単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源		内訳		備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 小鹿第二発電所導水路補強工事	0	10,000	10,000			10,000		
主な業務内容	小鹿第二発電所導水路における補強工事の実施							
工程表の政策目標(指標)	環境にやさしい水力発電等による電力の安定供給により県内産業の発展を支援する							

事業内容の説明

1 事業目的・概要

小鹿第二発電所の一部導水路について、鳥取県中部地震の影響により覆工コンクリートのひび割れの進行(拡大)や地山からの湧水が発生していることから、導水路の健全性を保持するため補強対策を実施する。

2 事業内容

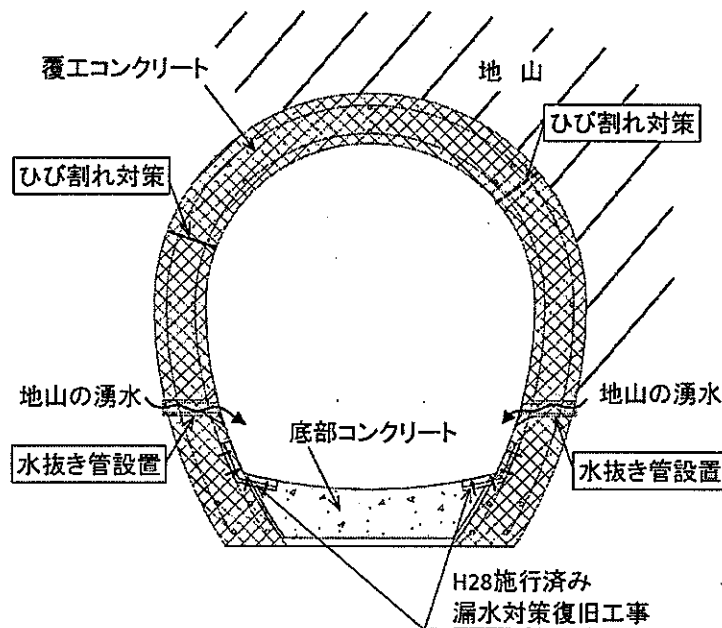
- 対象施設 小鹿第二発電所導水路(東伯郡三朝町井土)
- 事業期間 平成29年10月予定(3週間程度)
- 事業費 10,000千円
- 業務内容 導水路補強工事 延長50m
 ・覆工コンクリートのひび割れ対策及び覆工コンクリートにかかる水圧対策

3 これまでの取り組み状況

昨年発生した鳥取県中部の地震により、導水路の一部に底部コンクリート目地の開きや覆工コンクリートのひび割れの進行(拡大)、地山からの湧水や噴泥などが約50mにわたり発生した。

このうち、平成28年度に底部コンクリート目地の開きは地すべりを誘発する恐れがあるため、緊急的に漏水対策復旧工事を実施した。

導水路補強 断面図



平成29年度企業会計補正予算説明資料

款 電気事業費
 項 営業費用
 目 水力発電費

工務課(内線7447)
 (単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 小鹿第二発電所細密 分解点検業務		債務負担行為 85,000	債務負担行為 85,000			債務負担行為 85,000		
	0	0	0			0		
主な業務内容	小鹿第二発電所における水車発電機の細密分解点検の実施							
工程表の政策目標(指標)	環境にやさしい水力発電等による電力の安定供給により県内産業の発展を支援する							

事業内容の説明

1 事業目的・概要

小鹿第二発電所について、発電施設の適正管理による電力の安定供給を図るため、水車発電機の細密分解点検を行う。

<経緯等>

小鹿第二発電所の細密分解点検は、当初直営により平成31年度からリニューアル事業に着手するため、平成30年度は実施しない予定であったが、今年度当初予算による「県営発電所における民間活力活用(PFI手法)の検討調査」の実施に伴い、平成31年度以降も継続運転した方が経営的に有利となることから、継続運転に必要な細密分解点検を行うものである。

〔※水車発電機の細密分解点検は、電気事業法に基づく「鳥取県電気事業の電気工作物保安規程」により、12年毎に実施しており、小鹿第二発電所は、前回平成18年度に実施しているため、次回は平成30年度に実施する必要がある。〕

2 事業内容

- 対象施設 小鹿第二発電所(東伯郡三朝町三朝)
- 事業期間 平成29年度～平成30年度
- 事業費 85,000千円(内訳 平成29年度 0千円、平成30年度 85,000千円)
- 業務内容 水車発電機の細密分解点検(発電機下部軸受や制御盤の部品等の交換など)

3 債務負担行為額

85,000千円(平成30年度)

4 事業スケジュール

平成29年度	契約、機器製作(部品製作に10ヶ月程度)
平成30年度	機器製作、分解点検(10～11月頃:発電停止)

(参考) 小鹿第二発電所の概要

発電開始日	昭和33年4月
最大出力	5,200kW(キロワット)
年間目標発電量	25,852MWh(メガワット時) ※約7,200世帯分の年間消費電力量に相当
年間発電収入	約2.6億円

平成29年度鳥取県営電気事業予定貸借対照表(当年度分)

(平成30年3月31日)

(単位:千円)

資産の部			負債の部	
1 固定資産			3 固定負債	
(1) 有形固定資産			(1) 企業債	6,717,217
イ 水力発電設備	22,307,890		(2) 引当金	831,365
減価償却累計額	13,911,989		固定負債合計	7,548,582
共有者持分額	155,157	8,240,744	4 流動負債	
ロ 風力発電設備	660,306		(1) 企業債	467,139
減価償却累計額	380,818	279,488	(2) 未払金	173,402
ハ 送電設備	100,500		(3) 未払費用	0
減価償却累計額	42,902	57,598	(4) 預り金	1,220
ニ 太陽光発電設備	3,031,518		(5) 引当金	21,464
減価償却累計額	423,619	2,607,899	流動負債合計	663,225
ホ 業務設備	12,789		5 繰延収益	
減価償却累計額	10,629	2,160	(1) 長期前受金	1,643,473
ヘ 事業外固定資産	0		(2) 長期前受金収益化累計額	928,270
減価償却累計額	0	0	繰延収益合計	715,203
ト 建設仮勘定		2,357,660	負債合計	8,927,010
チ 建設準備勘定		266,583		
有形固定資産合計		13,812,132		
(2) 無形固定資産			資本の部	
イ ダム使用権		553,477	6 資本金	6,865,298
ロ 水利権		0	7 剰余金	
ハ 電話加入権		1,744	(1) 資本剰余金	
ニ 庁舎利用権		0	イ その他資本剰余金	3,986
ホ 施設利用権		32,888	資本剰余金合計	3,986
ヘ リサイクル預託金		90	(2) 利益剰余金	
無形固定資産合計		588,199	イ 開発改良積立金	223,576
固定資産合計		14,400,331	ロ 当年度未処分利益剰余金	163,501
2 流動資産			利益剰余金合計	387,077
(1) 現金預金		1,425,943	剰余金合計	391,063
(2) 未収金		352,655	資本合計	7,256,361
(3) 貯蔵品		4,431		
(4) 前払費用		11		
(5) 前払金		0		
(6) その他流動資産		0		
流動資産合計		1,783,040		
資産合計		16,183,371	負債資本合計	16,183,371

平成29年度鳥取県営電気事業キャッシュ・フロー計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	△ 3,801
減価償却費	587,891
引当金の増減額 (△は減少)	△ 76,106
長期前受金戻入額	△ 39,410
受取利息及び受取配当金	△ 3,964
支払利息	60,884
有形固定資産除却損	8,022
未収金の増減額 (△は増加)	△ 41,291
未払金の増減額 (△は減少)	22,050
未払費用の増減額 (△は減少)	0
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	△ 3,940
たな卸資産の増減額 (△は増加)	0
前払費用の増減額 (△は増加)	0
前払金の増減額 (△は増加)	0
預り金の増減額 (△は減少)	0
その他流動資産の増減額 (△は増加)	0
その他流動負債の増減額 (△は減少)	0
小計	510,335
利息及び配当金の受取額	3,964
利息の支払額	△ 60,884
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	3,940
業務活動によるキャッシュ・フロー	457,355
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 2,039,549
有形固定資産の売却による収入	0
無形固定資産の取得による支出	0
無形固定資産の売却による収入	0
国庫補助金等による収入	0
国庫補助金等の返還による支出	△ 125
固定資産の売却による収入	830
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,038,844
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
一時借入れによる収入	1,811,000
一時借入金の返済による支出	△ 1,811,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,811,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 598,068
その他の企業債による収入	0
その他の企業債の償還による支出	0
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金による収入	0
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金の返済による支出	0
その他の他会計借入金による収入	0
その他の他会計借入金の返済による支出	0
他会計からの出資による収入	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,212,932
資金増加額 (又は減少額)	△ 368,557
資金期首残高	1,794,500
資金期末残高	1,425,943

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

(追加)電気事業

事 項	限 度 額 千円	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳					
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	特 定 財 源	国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
平成29年度 小鹿第二発電所細密分解点検業務	85,000		千円		85,000		千円		千円	85,000	千円

条 例 名 等	鳥取県営企業の設置等に関する条例の一部改正について														
提 出 理 由 及 び 概 要	<p>1 提出理由</p> <p>埋立事業のうち、境港外港昭和地区の分譲が完了したため、同地区における埋立事業を廃止する。</p> <p>2 概 要</p> <p>(1) 埋立事業を行う区域から次の区域を削る。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区域の名称</th> <th style="text-align: center;">埋立造成面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">境港外港昭和地区</td> <td style="text-align: center;">154ヘクタール</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施行期日</p> <p>施行期日は、公布日とする。</p> <p>(参考) 境港外港昭和地区の概要</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tbody> <tr> <td>着工／完成</td> <td>昭和37年10月29日／42年10月25日</td> </tr> <tr> <td>販売開始</td> <td>昭和39年8月1日</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>3,058,871千円</td> </tr> <tr> <td>造成面積</td> <td>約153.8ha</td> </tr> <tr> <td>売却先数</td> <td>延べ67（今回売却分を含む）</td> </tr> </tbody> </table>	区域の名称	埋立造成面積	境港外港昭和地区	154ヘクタール	着工／完成	昭和37年10月29日／42年10月25日	販売開始	昭和39年8月1日	総事業費	3,058,871千円	造成面積	約153.8ha	売却先数	延べ67（今回売却分を含む）
区域の名称	埋立造成面積														
境港外港昭和地区	154ヘクタール														
着工／完成	昭和37年10月29日／42年10月25日														
販売開始	昭和39年8月1日														
総事業費	3,058,871千円														
造成面積	約153.8ha														
売却先数	延べ67（今回売却分を含む）														

鳥取県営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

鳥取県営企業の設置等に関する条例（昭和41年鳥取県条例第37号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、太枠で示すように改正する。

改正後	改正前														
<p>第6条 略</p> <p>2 埋立事業を行う区域の名称及び埋立造成面積は、次のとおりとする</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区域の名称</th> <th style="text-align: center;">埋立造成面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">米子港旗ヶ崎地区</td> <td style="text-align: center;">42ヘクタール</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">略</td> </tr> </tbody> </table>	区域の名称	埋立造成面積	米子港旗ヶ崎地区	42ヘクタール	略		<p>第6条 略</p> <p>2 埋立事業を行う区域の名称及び埋立造成面積は、次のとおりとする</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区域の名称</th> <th style="text-align: center;">埋立造成面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">境港外港昭和地区</td> <td style="text-align: center;">154ヘクタール</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">米子港旗ヶ崎地区</td> <td style="text-align: center;">42ヘクタール</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">略</td> </tr> </tbody> </table>	区域の名称	埋立造成面積	境港外港昭和地区	154ヘクタール	米子港旗ヶ崎地区	42ヘクタール	略	
区域の名称	埋立造成面積														
米子港旗ヶ崎地区	42ヘクタール														
略															
区域の名称	埋立造成面積														
境港外港昭和地区	154ヘクタール														
米子港旗ヶ崎地区	42ヘクタール														
略															

附 則

この条例は、公布日から施行する。

平成28年度鳥取県営電気事業会計継続費繰越計算書

款	項	事業名	継続費の総額	平成28年度継続費予算現額			支払義務発生額	残額	翌年度繰越額	翌年度繰越額に係る財源内訳			翌年度繰越額に係る繰越を要するたな卸資産の購入限度額	
				予算計上額	前年度繰越額	計				企業債	建設助成金	その他		
1 電気事業費	1 営業費用	小鹿第一線送電線撤去工事	193,293,000	24,771,280	160,077,280	33,691,680	126,385,600	126,385,600			126,385,600			
			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
1 資本的支出	1 建設改良費	水力発電所リニューアル事業(谷米)	4,032,047,000		64,320,000		64,320,000	64,320,000	64,320,000			64,320,000		
			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
		再生可能エネルギー第一発電施設導入促進事業(畠都川)	484,886,000	578,000	249,322,000	105,548	249,216,452	249,216,452	197,000,000		52,216,452			
		計	4,710,226,000	25,349,280	473,719,280	33,797,228	439,922,052	439,922,052	197,000,000		242,922,052			

平成28年度鳥取県営電気事業会計予算繰越計算書

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額を記入するの程度	説明
						企業債	建設助成金	その他			
1	資本的支出 1	建設改良費 若松川発電所除塵設備設置事業	12,000,000	円	12,000,000	円	円	12,000,000	円	円	当初想定していた前払金の支払を受注業者が請求しなかつたことから、翌年度に支払う必要があるため。
		再エネ由来CO2フリー水素製造へ向けたパイロットプラント検討事業	5,681,000	円	5,681,000	円	円	5,681,000	円	円	当該事業の実施に当たり、当初想定していた余剰電力以外の電力の有効活用についての検討に不測の日数を要したため。
	計		17,681,000		17,681,000			17,681,000			

地方公営企業法第26条第2項ただし書の規定による事故繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額を即入額に要するたの購入資産の限度	説明
						企業債	建設助成金	その他			
1 電気事業費	1 営業費用	加地発電所水圧管路補修工事	7,000,000	2,380,000	4,073,000	円	円	4,073,000	547,000	円	積雪の影響により、水圧管路手補修作業に不測の日数を要したため。
		荻荷谷ダム決壊設計業務委託	18,369,960		17,178,480			17,178,480	1,191,480		積雪の影響により、底質調査等の作業に不測の日数を要したため。
1 資本的支出	1 建設改良費	再生可能エネルギー発電施設導入促進事業(横瀬川)	58,529,520	50,644,358	7,870,800			7,870,800	14,362		積雪及び鳥取県中部地震の影響(受注業者の被災地緊急対応)により、補修補修作業に不測の日数を要したため。
		水力発電所リニューアブル事業(春米)	115,370,000	55,914,954	56,057,640			56,057,640	3,397,406		鳥取県中部地震の影響(受注業者の被災地緊急対応)により、地下構造物等の実施設計業務に不測の日数を要したため。
計			199,269,480	108,939,312	85,179,920			85,179,920	5,150,248		

平成28年度鳥取県営工業用水道事業会計予算繰越計算書

地方公営企業法第26条第2項ただし書の規定による事故繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額を仰入額に係るたの産資限	説明
						企業債	建設助成金	その他			
1 工業用水道事業費	1 営業費用	日野川工業用水道3号配水本管漏水応急対策工事	8,856,000 円	3,540,000 円	5,316,000 円			5,316,000 円			漏水事故が平成29年3月22日に発生したことから、所要の工期が確保できなかったため。

長期継続契約の締結状況について

番号	契約所属名	種類	契約対象物品	数量	契約の相手方	契約金額 円	契約期間	設置場所等
1	企業局経営企画課	物品 保守	複合機	2台	鳥取市東品治町102番地 株式会社ケイズ 鳥取支店	使用1枚当たり 黒 カラー 1,000円 5,200円	平成29年5月1日 ～平成33年4月30日	鳥取県企業局東 部事務所 他1所属
2	企業局経営企画課	物品 保守	複合機	1台	鳥取市田島721番地 株式会社エコービジネス	使用1枚当たり 黒 カラー 0,600円 3,700円	平成29年5月1日 ～平成33年4月30日	鳥取県企業局東 部事務所

